

---

# **最高の仲間**

Y

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

最高の仲間

### 【著者名】

ZZマーク

N6329B

【作者名】  
Y

### 【あらすじ】

弱小野球部。勝利を目指して頑張った日々。しかしそれ以上の何かを得る。そんな物語。

弱小野球部。どこのにある弱い野球部。でもそのメンバーは純粋に野球が好きだった。

毎日何時間も練習。来る日も来る日も練習。しかし勝てない。次第にバラバラになっていくチーム。

「もうやめないか。こんだけやつて勝てないんだつたらもうやる意味ねーよ」一人が言った。

「バカヤロー！」そいつを殴るキャプテン。

「お前そんなんでいいのか。こんな簡単に諦めていいのか！お前の野球に対する気持ちはそんなもんなのか！」泣きながらキャプテンが言った。

「そうだ。このくらいで負けてたまるか。」他のチームメイトも続けた。

この日以来チームはかわった。これまで以上のハードな練習。毎日泥だらけになりながらがんばった。みんなただ野球が好きだから。仲間が大切だから。

そして最後の大会が近づいてきたある日事件は起きた。「なんだつて。キャプテンが事故に？」キャプテンが練習にむかう途中交通事故にあつたのだ。

怪我は左足骨折。大会はもう無理だった。  
精神的支柱だつたキャプテンの怪我…。

「もう俺たちダメだな。」次々と口にする。そんな時

「もうやる意味ねーよ。」と以前言つてたやつが立ち上がつた。

「やつてやろおじやねーか。キャプテンの分まで俺たちががんばればいいだろ！キャプテンは野球したくてもできないんだよ。俺たちはできるんだ。やるしかねーよ。」

「そうだな。こんなところで落ち込んでてもしょうがねえな。よしキャプテンの分まで俺たちががんばるぞ」

「つまーー！」

そしていよいよ最後の大会が始まった。相手は強豪。「いいか。俺たちは精一杯やつてきた。絶対勝てるー自分を信じろ！仲間を信じろーーいくぞ！」

「よっしゃーー！」

プレイボール。いよいよ始まった。しかしあやはり相手は強豪。実力の差は明らかだった。どんどん点差が離れていく。結局8対0で負けてしまった。

悔し涙を流す選手達。しかしキャプテンだけは涙を流さず、みんなを慰めていた。本当は一番つらいはずなのに。

最後にキャプテンが言った

「お前らありがとう。本当にありがとう。俺このチームのキャプテンでよかった。こんなにいい仲間に恵まれて、大好きな野球ができて。」泣いていた。今まで我慢していたものがふき出したのだ。弱小野球部。勝利は手にできなかつたがこのチームは勝利以上の大切なものを手に入れた。最高の仲間といつかけがえのないもの

…。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6329b/>

---

最高の仲間

2011年2月1日19時00分発行